

出展物ヒアリングシート

質問項目		回答記入欄
出展ブースNo.		N1-12
貴社名		戸田建設株式会社
出展製品 (サービス/技術)①	名称	AI Transform Shield
	内容（具体的にご記入願います）	シールド工事におけるシールドマシンの掘進管理や姿勢制御を、AIプログラムを利用して行うシステムです。 掘進管理システムから共有されるマシンデータ、現在のシールドマシンの姿勢や掘削中の土質などの数多の情報から、クラウド上に保管された過去現場の掘進管理データを参考にAIが最適なシールド管理値を導き出し、シールドマシンの姿勢を自動制御し掘進していきます。
	一押しポイント	AIが過去の類似土質データを抽出し現在の掘進管理に反映
	URL	<a href="https://www.toda.co.jp/tech/shield_construction/ai_transform_shield.html">https://www.toda.co.jp/tech/shield_construction/ai_transform_shield.html</a>
出展製品 (サービス/技術)②	名称	省面積立坑システム
	内容（具体的にご記入願います）	省面積立坑システムは、必要に応じて固形回収システム、セグメントストックシステム、リアルタイム切羽安定管理システム、泥酔濃縮システムを組み合わせることで用地面積を最大1/3まで縮減可能です。 また、シールド工事では、大量の建設汚泥が発生します。省面積立坑システムでは、この建設汚泥の発生を最小限に抑制します。
	一押しポイント	シールド発達立坑用地を縮小すると共に環境負荷を低減する工法
	URL	<a href="https://www.toda.co.jp/tech/shield_construction/shaft.html">https://www.toda.co.jp/tech/shield_construction/shaft.html</a>
出展製品 (サービス/技術)③	名称	さくさくJAWS工法
	内容（具体的にご記入願います）	地上施工が制約される市街地直下などで適用が可能な非開削トンネル構築物の構築技術です。 高い強度と止水機能を有する継手構造の採用と、補助工法なしで地下水に対応できる密閉式推進機の適用により、従来工法の課題である施工の長距離化や継手品質の向上を図り、地下水対応型の合理的な施工法を実現します。
	一押しポイント	外殻先行型の非開削トンネル構築技術
	URL	<a href="https://www.toda.co.jp/tech/shield_construction/jaws.html">https://www.toda.co.jp/tech/shield_construction/jaws.html</a>
出展製品 (サービス/技術)④	名称	AIモデルを用いた地中埋設探査
	内容（具体的にご記入願います）	地中埋設探査業務にAIを活用し、従来の目視確認では見落とす可能性のある埋設物の反応を自動で検出し、探査精度の向上を図ります。また、従来の目視確認による解析と比較して作業時間を80%以上削減します。
	一押しポイント	AIを用いて探査精度の向上/解析業務の効率化を図る
	URL	<a href="https://www.toda.co.jp/news/2022/20220523_003040.html">https://www.toda.co.jp/news/2022/20220523_003040.html</a>
出展製品 (サービス/技術)⑤	名称	ユレかんち
	内容（具体的にご記入願います）	地震モニタリング「ユレかんち」は2016年から販売している当社独自のシステムです。当システムはユレかんちセンサーと通信装置を含む周辺機器で構成され、建物の床に設置することにより24時間地震をモニタリングします。地震発生時にはリアルタイムの震度と建物の健全性を判定し、お客様にメールにて配信します。カメラを併設することにより、地震後の内部の状況も確認することもできます。
	一押しポイント	地震モニタリングシステム
	URL	<a href="https://www.toda.co.jp/tech/construction/monitoring.html">https://www.toda.co.jp/tech/construction/monitoring.html</a>
<b>本展示会で下記に該当する製品・技術・サービスはございますか。</b>		
業界初もしくは、本展示会にて初披露	×	
SDGsに対応した出展製品(サービス/技術)	○	省面積立坑システム
来場者が体験・体感できるもの（VRや実機のデモなど）はございますか？ 会場内で、どのような体験・体感ができますか？	○	ユレかんち 建物の模型を用いて震度を計測できる。
ブース内で発表会またはデモンストレーションの予定 また、著名人・タレントの登壇予定はございますか？	×	
地震・台風・洪水など自然災害に対応した出展製品(サービス/技術)	○	ユレかんち
少子高齢化に伴う人手不足に対応する出展製品(サービス/技術)	○	AI Transform Shield
雪や凍結対策に関する製品など <b>北海道ならではの出展製品（サービス/技術）</b>	×	
出展する出展製品(サービス/技術)で2022～23年に マスコミやお客様から最も問い合わせの多かったものを教えてください。	○	ユレかんち